

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		県民交通災害共済事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030301000705
						単独/補助	補助	所属課	030301
政策体系	総合計画の施策名		0303 交通安全対策の推進				課長名		生活環境課
	政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり				グループ		市民活動・交通安全G
	施策名		03 交通安全対策の推進				担当者名		
	手段名		01 ①交通安全意識の向上						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	11	01	00	交通安全対策事業		
法令根拠						県民交通災害共済条例(組合条例)			
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)									

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのため、桜川市在住者が交通事故による災害を受けた場合の救済を目的とする共済制度である。茨城県市町村総合事務組合と市町村で業務を行う。</p> <p>職員が事務組合の併任職員として委任され、以下の事務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の加入申込みの受理及び会費の徴収 ・会員証の交付 ・会費の還付 ・見舞金の決定 ・会員証(市町村用)の保管、整理及び記録 		<ul style="list-style-type: none"> ・加入推進のチラシ配布 ・加入申し込み受付業務 ・会費収納事務 ・見舞金請求及び給付業務 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・加入推進のチラシ配布 ・加入申し込み受付業務 ・見舞金請求及び給付業務 ・加入促進 		加入推進チラシ配布数		枚	12,599.00	12,622.00	12,636.00	12,653.00	12,669.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市民		人口		人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
交通安全に対する意識の高揚を図り、安価な加入金で、もし交通事故に遭った場合、交通災害の被害者を救済する。		加入者数		人	946.00	887.00	900.00	900.00	900.00
		見舞金給付金請求件数		件	6.00	9.00	10.00	10.00	10.00
		見舞金給付金額		千円	330.00	710.00	600.00	600.00	600.00

(3) 投入量(事業費)の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	65	62	63	0
			一般財源	千円	-38	-35	-36	0
			事業費計(A)	千円	27	27	27	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事 業 費 の 内 訳	02年度事業費 実績(千円)				03年度事業費 予算(千円)			
	13 使用料及び賃借料	27			13 使用料及び賃借料	27		
		合 計	27		合 計	27		

事務事業名	県民交通災害共済事業	事務事業No.	30301000705	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 経済の高度成長に伴い、昭和30年代後半から自動車の交通量が急速に増大し、それに伴い交通事故が増加したため、その被害者の救済措置として始まった。 昭和43年の「茨城県県民交通災害共済組合」発足以来事業を開始し、現在に至っている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 加入者が年々減少しているにもかかわらず、見舞金給付額が増えていることから組合で制度の見直しを検討している。当市でも加入者は減少しているが、窓口に来た市民からは「これに入ると安心。お守り代わり」という声も聞かれる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民が安心して過ごせるためには、万が一の交通事故に備えた保証が必要である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県市町村事務組合から委任され、県内全市町村で委任を受けている事業であり、共済加入方法が住民登録している市町村窓口のみであるため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 市内の人口減少及び類似の保障が充実した民間保険の進出により、加入者の増加は期待できない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 民間の保険より安価な掛金で、交通事故災害見舞金を給付しているため、頼りにしている市民がいる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 茨城県市町村事務組合が行っている事業のため、連携や統廃合の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 費用はシステム使用料と各庁舎での事務手続きの人件費のみのため、削減することは難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内に住民登録している市民を対象としていることから、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	加入者数が年々減っているため、加入推進のチラシの全戸配布や窓口での啓発品の配布を行い、県民交通災害共済の周知を行った。また、加入者への見舞金の給付を9件行った。長期の通院が必要となる事故が増えているため、加入時に交通事故への注意を呼び掛ける必要がある。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	◎																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>